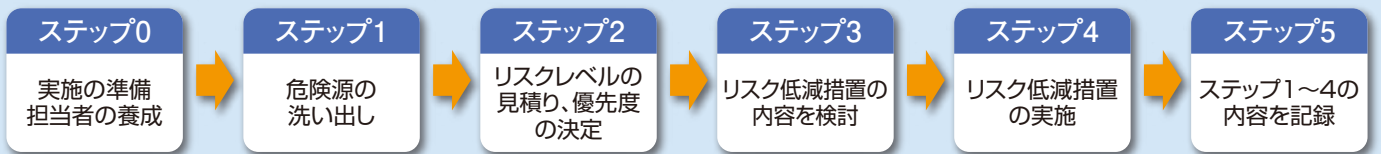


動力プレス機械を使用する作業の

リスクアセスメントを 実施しましょう

安全衛生法令を守るだけでなく、現実の危険を排除しなければ先に起こりうる労働災害を防ぐことはできません。職場全員の「危険」の感受性で、危険の芽を摘み、労働災害を防ぎましょう。そのためには、リスクアセスメントの実施が効率的、効果的ですから次のステップにしたがってリスクアセスメントを進めましょう。



材料自動送給のプレス機械の加工作業でのリスクアセスメント実施事例

● 作業内容

圧力能力80トンのプレス機械（自動送給、取出し）による家電部品の加工作業中に、下型に材料が残った場合の材料の取出し作業

ステップ1 危険源の洗い出し

- 金型が安全装置と干渉するため光線式安全装置をオフにし、加工中に下型に材料が詰まり残材料を取り出すときにスライドが下降し金型に挟まれる危険

ステップ2 リスクの評価を行い、速やかにリスク低減措置を講ずる必要があると決定

- 上記の作業は毎日何回もあるので、災害発生の可能性が高い
- プレスでの挟まれは障害を残す重傷災害になる可能性がある

発生頻度…高
重篤度…中

ステップ3 リスク低減措置は工学的措置を優先し、管理的対策、個人用保護具の使用を後順位にする

- A 金型が干渉しないような安全装置を設ける ① 実施順
- B プレス機械作業主任者が光線式安全装置の切替えキーを管理する ②
- C 加工中に下型に材料が詰まり残材料を取り出すときは機械を停止するよう安全教育を徹底する ③

ステップ4 リスク低減措置を実施する

プレス機械作業主任者が安全装置の切替えキーを管理する

加工中に下型に材料が詰まり残材料を取り出すときは機械を停止する

金型が安全装置と干渉する場合の安全囲いなどの安全措置を講ずる

プレス機械作業主任者が安全囲い、光線式安全装置、両手操作式安全装置を確実に使用するように指揮する

事故例

プレス機械で自動加工中に材料を取り出そうとしたとき、スライドが下降し金型に挟まれた

● リスクアセスメント実施結果

作業	リスク	リスクレベル	低減措置	優先順位
自動送給のプレス加工中に下型に残った材料を取り出す作業	スライドが下がってきて金型に手を挟む	IV 重大な問題あり 発生頻度…高 重篤度…中	A	①
			B	②
			C	③